



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日  
上場取引所 東

上場会社名 nms ホールディングス株式会社  
 コード番号 2162 URL <http://www.n-ms.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 文明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 コーポレート本部長 (氏名) 河野 寿子 TEL 03 (5333) 1711  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	39,922	△14.3	361	△40.4	53	△85.6	△587	—
2020年3月期第3四半期	46,593	10.2	607	102.1	369	18.1	257	22.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △809百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △64百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△35.26	—
2020年3月期第3四半期	15.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,480	4,818	15.8
2020年3月期	33,470	5,849	17.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,809百万円 2020年3月期 5,837百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期 (予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,500	△9.8	600	△34.8	350	△35.4	△300	—	△18.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期 3Q	21,611,000株	2020年3月期	21,611,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期 3Q	4,949,759株	2020年3月期	4,449,759株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期 3Q	16,674,026株	2020年3月期 3Q	17,161,270株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）拡大により、依然各国の経済活動は著しい制限を受けており、経済活動の制限緩和や経済対策等により景気持ち直しの動きはあるものの、一部の地域においては、再び経済活動の制限強化がされるなど、先行きは不透明感が強いまま推移しております。

わが国経済においても、感染症の影響による厳しい状況から持ち直しの動きもみられましたが、足もとでは第3波といわれる感染再拡大により、景気の先行きが見通せない状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、従業員及びお客様の安全確保を最優先し、間接部門や営業部門についてはテレワークやリモートによる活動を推進、海外においても各国政府の要請に従い対応を図りながら、販管費の抑制に努めました。

また、経営環境改善時に備えた基盤強化策として、グループにおける事業構造改革を実行しており、引き続き、合理化、効率化を徹底的に進め、事業効率のよい体制への転換や抜本的コスト構造改革を行っています。今後も経済環境はさらに不透明感を増していく様相ですが、グループ間の事業シナジー創出に加え、事業構造改革により体質を強化し、次年度につながる取り組みを展開してまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は39,922百万円（前年同期比14.3%減）となり、営業利益361百万円（前年同期比40.4%減）、経常利益53百万円（前年同期比85.6%減）、感染症関連による休業手当等による特別損失417百万円、事業構造改革による特別損失52百万円等を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は587百万円（前年同期は257百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① HS事業（ヒューマンソリューション事業）

国内事業については、引き続き、感染症の影響により減収となりましたが、製造派遣・製造請負事業における自動車関連事業等の回復影響と共に、物流3PL（\*）受託・テクニカル流通加工事業会社（nmsロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社）、技術者派遣専門会社（nmsエンジニアリング株式会社）等において徹底した経費見直しを行い、国内事業全体における固定費の圧縮に努めたことにより、利益が改善しました。海外事業については、中国事業は回復傾向が続いたもののASEANにおける感染症による稼働調整やインドネシア等における事業立ち上げに伴うコストの影響が残りました。

この結果、当セグメントの売上高は、14,038百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント利益は、587百万円（前年同期比25.9%増）となりました。

※3PL：サードパーティー・ロジスティクス

#### ② EMS事業（エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業）

国内EMS事業は、感染症影響とともに、一昨年から続いている米中貿易摩擦に起因した国内顧客の減産や工作機械関連の需要減少による影響がありました。海外EMS事業は、中国・ASEAN・北中米において生産活動を展開しており、前年度から続く戦略投資の実行期にある中、世界規模での感染症拡大に伴う、各国政府方針によるロックダウンや外出禁止令、出入国制限等により、経済活動停滞の影響が継続、中国やマレーシアでは稼働改善がみられましたが、全体としては販売が低調に推移しました。利益面では、重点施策として進めているベトナムおよびメキシコ拠点の先行投資コスト等も圧迫要因となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、17,584百万円（前年同期比13.4%減）、セグメント利益は、12百万円（前年同期比82.3%減）となりました。

#### ③ PS事業（パワーサプライ事業）

PS事業は、中国における生産拠点の感染症影響が改善された一方、サプライチェーンの混乱や顧客の生産調整、在庫調整実施の影響を受け、販売が減少したものの、前期において行った抜本的コスト構造改革による体質強化の効果、及びさらなるコスト削減も実行し、利益の確保に努めました。部材価格高騰に伴う価格は正効果があった前年同期に対し大幅減益となったものの、体質強化策による実効もあり、次期につながる基盤を構築しました。

この結果、当セグメントの売上高は、8,299百万円（前年同期比17.7%減）、セグメント利益は、135百万円（前年同期比69.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、20,397百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,717百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が247百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が2,584百万円、製品が417百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は、10,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ262百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が73百万円、無形固定資産が189百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、30,480百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,989百万円減少いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、15,792百万円となり、前連結会計年度末に比べ498百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が803百万円増加する一方で、支払手形及び買掛金が916百万円、未払消費税等が401百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は、9,870百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,459百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が606百万円、その他固定負債が847百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、25,662百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,958百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、4,818百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,031百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が673百万円、為替換算調整勘定が223百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は15.8%（前連結会計年度末は17.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想につきましては、2020年8月7日公表の通期業績予想数値に変更はありません。

今後も経済環境は感染症影響による不透明感が続くとしているものの、抜本的コスト構造改革の継続による利益効果も見込まれ、現時点で通期業績を見極める段階にないことから、今後の動向がより明確に見通せるようになった時点で見直しを行い、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,177,174	4,424,647
受取手形及び売掛金	11,812,540	9,227,968
製品	1,472,875	1,055,479
仕掛品	514,158	508,941
原材料及び貯蔵品	4,037,383	4,065,205
その他	1,113,115	1,125,554
貸倒引当金	△11,982	△10,045
流動資産合計	23,115,265	20,397,751
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,166,687	1,166,687
その他(純額)	6,893,475	6,820,173
有形固定資産合計	8,060,162	7,986,861
無形固定資産		
その他	1,095,508	905,698
無形固定資産合計	1,095,508	905,698
投資その他の資産		
その他	1,139,242	1,140,192
貸倒引当金	△6,119	△6,119
投資その他の資産合計	1,133,122	1,134,072
固定資産合計	10,288,794	10,026,632
繰延資産		
社債発行費	66,106	56,190
繰延資産合計	66,106	56,190
資産合計	33,470,166	30,480,574
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,443,103	3,526,561
短期借入金	7,018,201	7,821,326
未払金	1,854,258	1,722,503
未払法人税等	172,312	112,732
未払消費税等	833,584	432,351
賞与引当金	472,090	438,755
その他	1,496,517	1,737,818
流動負債合計	16,290,069	15,792,049
固定負債		
社債	2,000,000	2,000,000
長期借入金	6,758,018	6,151,063
繰延税金負債	65,824	65,487
退職給付に係る負債	363,628	358,069
その他	2,142,947	1,295,816
固定負債合計	11,330,419	9,870,437
負債合計	27,620,488	25,662,487

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,690	500,690
資本剰余金	527,182	527,182
利益剰余金	6,307,834	5,634,044
自己株式	△909,859	△1,043,513
株主資本合計	6,425,848	5,618,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,076	△4,643
為替換算調整勘定	△580,843	△804,184
その他の包括利益累計額合計	△587,919	△808,827
新株予約権	3,056	—
非支配株主持分	8,692	8,511
純資産合計	5,849,677	4,818,087
負債純資産合計	33,470,166	30,480,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	46,593,474	39,922,874
売上原価	40,570,841	35,147,046
売上総利益	6,022,632	4,775,827
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	2,061,399	2,022,436
賞与引当金繰入額	154,678	92,902
その他	3,199,366	2,298,611
販売費及び一般管理費合計	5,415,445	4,413,949
営業利益	607,187	361,877
営業外収益		
受取利息	14,571	11,449
受取配当金	690	636
不動産賃貸料	29,654	30,158
助成金収入	127,500	—
その他	76,016	77,034
営業外収益合計	248,433	119,279
営業外費用		
支払利息	161,790	186,057
社債発行費償却	—	9,915
為替差損	198,522	163,181
不動産賃貸原価	19,690	16,850
外国源泉税	2,736	1,275
その他	103,635	50,651
営業外費用合計	486,375	427,932
経常利益	369,244	53,224
特別利益		
固定資産売却益	20,256	2,373
為替換算調整勘定取崩益	168,663	—
新株予約権戻入益	—	3,056
特別利益合計	188,920	5,429
特別損失		
固定資産売却損	190	—
固定資産除却損	2,050	9,363
事業構造改革費用	—	52,592
たな卸資産廃棄損	41,000	—
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	417,605
特別損失合計	43,241	479,561
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	514,923	△420,907
法人税等	257,189	167,701
四半期純利益又は四半期純損失(△)	257,733	△588,609
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△93	△625
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	257,826	△587,983



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	257,733	△588,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△961	2,433
為替換算調整勘定	△321,767	△223,673
その他の包括利益合計	△322,728	△221,239
四半期包括利益	△64,994	△809,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,620	△808,891
非支配株主に係る四半期包括利益	△374	△956

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年4月20日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式500,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が133,654千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,043,513千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	HS事業	EMS事業	PS事業	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
(1)外部顧客への売上高	16,196,427	20,316,565	10,080,480	46,593,474	—	46,593,474
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	33,752	1,252,552	321,538	1,607,843	△1,607,843	—
計	16,230,180	21,569,118	10,402,018	48,201,317	△1,607,843	46,593,474
セグメント利益	466,512	68,503	438,022	973,038	△365,851	607,187

(注) 1. セグメント利益の調整額△365,851千円には、セグメント間取引消去5,946千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△371,797千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

EMS事業において、Sony Electronics Inc.の事業部門「Sony Service and Operations of Americas」に関連する事業を譲り受けており、当該事業譲受により TKR DE MEXICO S.A. de C.V.の株式を取得したため、同社を前第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれん金額は、取得原価の配分が完了していなかったため、暫定的な会計処理によって算定された金額でありましたが、前連結会計年度末に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、のれん金額を352,519千円に修正しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	HS事業	EMS 事業	PS事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1)外部顧客への 売上高	14,038,620	17,584,988	8,299,265	39,922,874	—	39,922,874
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	31,934	1,401,613	219,059	1,652,606	△1,652,606	—
計	14,070,554	18,986,601	8,518,324	41,575,480	△1,652,606	39,922,874
セグメント利益	587,164	12,098	135,309	734,572	△372,694	361,877

(注) 1. セグメント利益の調整額△372,694千円には、セグメント間取引消去△4,174千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△368,519千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。